

募集
要項

第15回 葺賞瓦屋根設計コンクール 学生部門新設

「瓦」が生み出す新たな風景

第1回 葺賞学生アイデアコンペティション

葺 iraka 賞

「瓦」(かわら)が歴史上、初めて登場したのは約2,800年前の中国といわれ、日本にはおよそ1,420年前の西暦588年に百済から仏教とともに伝来し、飛鳥寺で使われたのが初めてとされています。

その後、日本において「瓦」は、屋根材料として広く普及し、長い間、日本の風景をつくりだす重要な要素の一つとなっていました。

一方、建築の近代化・高層化とともに、屋根の「かたち」は大きく変化しました。フラットルーフの台頭により勾配屋根の建物は減少し、これとともに「瓦」が日本の風景から消えようとしています。

「瓦」が織りなす「屋根の連なり」や「かたち」・「色彩」といった風景は、日本の建築に不可欠なものであり、また、日本固有の文化を支える大切な材料の一つといえます。

現在、「瓦」の使用量の減少とともに、瓦製作の職人、瓦葺きの職人の数も減ってきています。この傾向が長く続けば、近いうちに日本から「瓦」の技術が失われてしまうといっても過言ではありません。

そこで、「瓦」の文化を後世にも継承するため、次世代の建築を担う学生の方々を対象に、これまでの「瓦」にとらわれない新しい「瓦」の使い方に関するアイデアを募集します。

提案は「瓦」の特性を十分に活かしたものであり、また、地球レベルの課題である温室効果ガス削減などにも役立つものであって欲しいと考えています。

皆さんの柔軟な発想により、新しい「瓦」のある風景を発見してくれることを期待しています。

■募集期間

平成23年2月1日～4月30日 (4月30日消印有効)

主 催 / 全国陶器瓦工業組合連合会 (社) 全日本瓦工事業連盟

第15回 葦賞瓦屋根設計コンクール学生部門

第1回 葦賞学生アイデアコンペティション

葦^{iraka}賞

募集要項

■課題 「都市における『瓦』を用いた新しい空間提案」

東京をはじめとする都市部では、「瓦」を見る機会が少なくなりました。均質化が進む都市環境の中で、「瓦」の持つ素材の可能性を活かし、これまでにない空間表現により、21世紀の日本の原風景が提案されることを期待しています。空間の大きさや用途などはすべて自由です。

■応募資格

- ・国内外の大学院、大学、高等専門学校又は各種専門学校で建築を学んでいる者(学生)
- ・グループによる応募も可

■募集期間

平成23年2月1日～4月30日 (4月30日消印有効)

■提出物 以下のものを送付してください。

(1) 応募カード

応募者情報をご記入ください。

(2) 応募作品

A1サイズ用紙1枚に、コンセプト、PRポイント等を記載し、平面図、配置図、立面図、パース、模型写真、その他詳細図など設計意図を表現するのに必要と思われるものを各自選択して描いてください。縦使い、横使いを含めてレイアウトは自由。

表現方法は、鉛筆、インキング、着色、CGや写真などいずれも自由。

但し、以下の点に留意してください。

- ・パネル化しないこと。(スチレンボード等貼付提出は可)
- ・粘土瓦を使用したイメージがわかりやすく表現されていること。
- ・送付の際は書類を折りたたまずに提出すること。
- ・入賞者にはデータをご提出いただきますのでご了承ください。

※応募作品の著作権は、応募者に帰属します。ただし、主催者および後援者が本コンクールの趣旨に基づいて作品発表、PR等に利用する場合には、応募者は無償でこの使用を認める事とします。

※応募者の個人情報は適切に管理いたします。

※応募作品は一切返却いたしませんので、必要な場合は予め複製しておいてください。

■応募作品提出先

葦賞事務局 〒444-1323 愛知県高浜市田戸町一丁目1番地1
全国陶器瓦工業組合連合会高浜事務所内
[TEL] 0566-52-1200 [FAX] 0566-52-1203
[E-mail] info@kawara.gr.jp

- 募集要項・応募用紙は下記ホームページからもダウンロードできます。

葦賞事務局(愛知県陶器瓦工業組合) <http://www.kawara.gr.jp/>
全国陶器瓦工業組合連合会 <http://www.zentouren.or.jp/>

- 瓦に関する情報は下記HPをご覧ください。(希望者には瓦パンフレットを送付)

全国陶器瓦工業組合連合会 <http://www.zentouren.or.jp/>
愛知県陶器瓦工業組合 <http://www.kawara.gr.jp/>
石州瓦工業組合 <http://www.sekisyu-kawara.jp/>
淡路瓦工業組合 <http://www.a-kawara.jp/>

審査委員 (敬称略)

委員長	森 暢郎	(日本建築学会副会長/㈱山下設計取締役会長)
委員	栗生 明	(日本建築家協会/千葉大学大学院教授)
委員	内田文雄	(日本建築士会連合会/山口大学大学院教授)
委員	土井良治	(経済産業省製造産業局住宅産業課建材課長)
委員	松本大樹	(国土交通省総合政策局建設市場整備課長)
委員	山田勝雄	(全日本瓦工事業連盟理事長)
委員	杉浦勝典	(全国陶器瓦工業組合連合会理事長)
委員	佐々木賢一	(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)
委員	福原幸蔵	(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)

賞

- 金賞(1点) 賞状および・副賞10万円
- 銀賞(1点) 賞状および・副賞5万円
- 銅賞(1点) 賞状および・副賞3万円
- 佳作(5点程度) 賞状および・副賞1万円

※賞金額・受賞点数については作品の審査結果により変動する場合がありますので、予めご了承ください。

発表

平成23年6月下旬～7月頃(予定)

(審査の結果は入賞者に通知するとともに、日本屋根経済新聞等で発表します。)

表彰式

平成23年8月30日 東京田町 建築会館
(金、銀、銅受賞者は、必ずご出席を願います。)

展示会

平成23年8月27日～8月31日まで
建築会館ギャラリーにて入賞作品の展示を行います。

主 催

全国陶器瓦工業組合連合会 (社)全日本瓦工事業連盟

後 援

経済産業省 国土交通省 (社)日本建築学会 (社)日本建築家協会
(社)日本建築士会連合会 (社)日本建築士事務所協会連合会
(社)日本建築美術工芸協会 全国いぶし瓦組合連合会
(株)日本屋根経済新聞社